

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流を深めることを理念に入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で安心して暮らしていけるよう支援したい。
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理念に基づいたサービス提供に心がけるよう職員間で確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していきたい
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町の広報や事業所の新聞、有線放送で紹介している。家族には家族会を通じて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していきたい
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の行事に参加していただいたり、散歩や買い物時に声を掛け合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・付き合いを広げていきたい。
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の小学生が定期的に訪問してくれたり、中学の文化祭にも毎年招待されている。町主催の敬老会等にも参加し交流を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・事業所においてヘルパー2級講座を開講したり、ボランティアの受け入れを積極的に行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・職員全員が自己評価をし、内容を把握し改善に努めている。		・継続していきたい
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・グループホームの現状を説明し、それぞれの意見を聞いている。		・立ち上げて浅いが、意見をもらい今後のサービス向上に活かしていきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・行政法人なので町との連絡は密に行っている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している			・勉強会の機会を持ち、職員に理解してもらえるようにする。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・事業所全体で取り組んでいる。		・継続していきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約前にホームの様子を見ていただき、状況確認していただいた後、文書と共に口頭にて説明している。解約の場合も理由を明確に話している。</p>	<p>・継続していきたい</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・普段の会話の中から感じ取り，それを職員間で話し合っている。</p>	<p>・継続していきたい</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>・事業所において毎月新聞を発行しており、その中で様子をお知らせしたり、面会時や家族会等で詳しく話すと共に、必要があれば電話でも報告している。</p>	<p>・継続していきたい</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・相談窓口・苦情受付を明示し、いつでも相談や苦情を受け入れる体制が出来ている。また事業所に第三者委員会を設置している。</p>	<p>・継続していきたい</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・事業所に運営委員会を設置しており、職員の意見や提案を聞いている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・利用者の状況に応じた勤務ローテーションで行っている。また緊急時は対応できるよう調整を図り、勤務者を確保している。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・職員の異動時は、利用者に影響を及ぼさないよう必要最小限に抑えるよう努力している。		
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・事業所全体で取り組んでいる。また研修会後は全体会議の折に発表している。		
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・広域や連絡協議会等で交流会を持ち、勉強会・相互訪問等に取り組んでいる。		・更に深めたい
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・事業所において研修旅行や暑気払い・忘年会等計画している。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・人事評価制度を導入しており、職員が目標を持って働けるよう勤めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・自宅に訪問し、本人の話をよく聴き信頼関係が築けるよう努力している。</p>	<p>・継続していきたい</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・自宅に訪問し、本人の話をよく聴き信頼関係が築けるよう努力している。家族の話をよく聴き、求めていること等、気持ちを感じ取る努力をしている。</p>	<p>・継続していきたい</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・本人にとっての必要な支援を最優先し、他のサービス利用も考え対応していくようにしている。</p>	<p>・継続していきたい</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・利用前に様子を見ていただいて、徐々に馴染めるよう心配りをしている。</p>	<p>・継続していきたい</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・本人の出来ることを把握し一緒に行ったり、生活の知恵を教わったりしながら馴染みの関係を作っている。</p>	<p>・家族との信頼関係を更に深めて生きたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・面会時や必要に応じて電話で今の状況を伝え、お互いの立場を考慮しながら支援している。		・継続していきたい
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・家族には出来るだけ関わってもらうよう配慮している。		・継続していきたい
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・本人・家族の希望に副って支援している。		・継続していきたい
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・利用者の個性を見極め、トラブルを最小限にし、穏やかな生活が出来るよう支援している。		・日々の生活の中で利用者に不安を与えないよう配慮していきたい。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・同事業所内で情報を得、様子を聞いたりしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・日々の生活の中で把握し対応している。また家族からも情報をもらうようにしている。</p>	<p>・センター方式・その他を活用したい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>経験や性格を知り、本人・家族からの情報を得ながら日々の生活に活かしている。またサービスを受けていた事業所方からも話を聞く。</p>	<p>・センター方式・その他を活用したい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>・個々の生活のリズムを崩さないよう配慮し、有する力を発揮できるようにしている。</p>	<p>・センター方式・その他を活用したい。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・家族からの意向や要望を確認し、本人の困っていることや気づいたことなどを聞いたりして、介護計画を作成している。</p>	<p>・継続していきたい</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・特別な状態変化などがあれば内容を変更し、現状にあった内容に修正や追加をしている。状態に変化がなければ3ヶ月・6ヶ月と継続しながら見直ししている。</p>	<p>・継続していきたい</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・個々に気づいたことは毎日ケースに記録し、常に目を通して情報を共有している。		・継続していきたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・家族の状況により、通院・外出等の支援は柔軟にしている。		・継続していきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・地域の行事に参加したり、ボランティア協会にも協力してもらっている。		・地域との関わりは大事にしていきたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・行っていない		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・随時連携を図って行っている。		・継続していきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・家族が付き添い受診しているが、緊急時や必要時は職員も付き添い状態を伝えるようにしている。		・継続していきたい
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・個々の状態に応じ、家族と相談しながら受診している。		・継続していきたい
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・同事業所内の看護職員に相談・助言を受けたり、往診時に来てくれる看護師とも連携を取っている。		・継続していきたい
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院先の医療機関と話し合いを持ち、家族の意向を聞きながら行っている。		・継続していきたい
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・契約を結んだ時と家族会等で説明し、家族とその都度話し合い、主治医と相談しながら支援している。		・継続していきたい
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている			・検討したい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	・細かな情報交換に心がけている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	・ プライバシーに配慮し、さりげない対応に心が けている。また個人情報の取り扱いにもむやみに 情報を洩らさないよう注意をはらっている。		・ 継続していきたい。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	・ 利用者に合わせて声掛けを行い、会話や行動の 中で感じ取り、一緒に共感しスキンシップをとっ ている。		・ 継続していきたい
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	・ 一人一人の気持ちを大事にしており無理強い はない。		・ 出来るだけ希望にそって支援していきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	・ 行きつけの美容院に行ったり、出張してもら って希望に合ったスタイルにしている。また外 出時は本人の着たい服で出掛けられるよう 支援している。		継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・お茶の準備、食事の下ごしらえ、テーブル拭き等声掛けしながら行っている。		・継続していきたい。
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・食材の買出し時に一緒に行って選んでもらったり、好みを聞いて購入し提供している。家族が面会時に利用者の好みのものを差し入れして下さることもある。。		・継続していきたい。
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・毎日排泄表に記入し、個々の排泄のサイクルを把握しながら対応している。		・継続していきたい。
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入浴日は一応決めてはあるが、拒否、失禁等があればその都度対応している。		・希望があれば夜間入浴も検討していきたい。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・それぞれの落ち着いた場所で過ごせるよう支援している。		・継続していきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・日常の中で、その方の得意とすることをしていただいたり、出番の機会を作り支援している。		・継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・お小遣いとして家族より預かり、金銭管理は職員が行っている。利用者から申し出があった場合は確認していただくこともある。		・継続していきたい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・天気のよい日は、戸外へ出掛け外の風・空気・太陽を浴び季節を感じていただいている。		・継続していきたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・月に一回は全員で遠出をし外出等を楽しんだり、年に一回家族の方とも温泉旅行を計画実行している。また個々の家族が外出に連れて行ってくださることもある。		・継続していきたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話をかけたい希望があるときには応じ、年賀状や暑中見舞いを書いて投函している。		・継続していきたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・希望に応じ、居室でお茶を飲みながらゆっくりお話をしたり、職員が同席して世間話をすることもある。		・継続していきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・事業所全体で身体拘束ゼロ委員会を立ち上げ取り組んでいる。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・基本的には自由に出入りできるよう玄関には鍵はかけていない。外に出る場合は、必ず職員と一緒に付き添い安全を確保している。		・継続していきたい。
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・常に入居者の動きに目配りをし、所在確認を行っている。		・職員間の連携に努める。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・薬・現金に関しては安全に管理している。		・継続していきたい。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事業所全体の研修で、講師を招いて応急処置を学んでいる。		・継続していきたい。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・事業所全体で、年1回救急法を学び、いざという時のために備えている。		・継続していきたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・年2回の防災訓練を実施しており、地域の住民にも参加していただき協力を得ている。		・継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・起こりうるリスクについては、契約時及び家族会等で話している。		・リスクのみを想定せず、本人が過ごしやすい環境でいられるよう支援していきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・普段の健康状態を把握し、毎日バイタルチェックを行い、変化や異常が見られた時は速やかに対応している。		・継続していきたい。
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・処方される度に用法や容量を確認し、薬の説明書に職員全員が目を通し理解している。		・継続していきたい。
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・水分や食物繊維の多い食物を摂取したり、散歩や体を動かす機会を多くしている。また排便表を元に医師や家族と相談の上、服薬等の対策を取っている。		・継続していきたい。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・歯磨きや入れ歯の手入れを個々の状態にあわせ、見守り及び支援している。		・継続していきたい。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・職員と一緒に食事を摂っているので、食事量や水分量は把握できている。また水分不足の利用者には本人が飲めるような飲料を随時提供している。		・継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	・事業所でマニュアルを作成し実行している。		・継続している。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・食器・調理器具等は殺菌・消毒をその都度行っている。また食材の買ひ物は毎日行い新鮮なものを提供している。		・継続していききたい。
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・花壇や畑があり、季節を感じてもらえるようにしている。		・継続していききたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ホールには温かみを感じるストーブを設置しており、冬場はその回りで暖を取っている。また畳スペースではほとんど全員が集まりテレビを見たり会話を楽しんでいる。		・継続していききたい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれ食堂の椅子や周りにあるソファーに、自由に座って過ごせるようにしている。		・継続していききたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	・本人や家族の意向で、慣れ親しんだ小物や寝具 を持ち込んだり、写真等を飾って温かみのある居 室作りをしている。		・継続していきたい。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	・その日の天候に応じ、窓を開け空気の入替え を行っている。冬場は加湿器を使い冷暖房の温度 調節を適宜行っている。		・継続していきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	・廊下・トイレ・浴室に手すりをつけ、安全に歩 行や移動が出来るよう配慮している。		・継続していきたい。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	・トイレに表示をしたり、個々に合わせて居室や 食堂のテーブルに名前を表示して混乱しないよう 配慮している。		・継続していきたい。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	・花壇や畑があり、入居者と一緒に水くれ、草む しり、野菜作りを行っている。またロータリーに 椅子を出し、外でのレクリエーションも楽しめる よう配慮している。		・継続していきたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)